

Ⅱ 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
柏原・天王寺	学校教育 教員養成課程	幼小教育専攻 ^{（注2）}	幼児教育コース	5人
			小学校教育コース	17人
柏原		次世代教育専攻	教育探究コース	10人
		教科教育専攻	国語教育コース	10人
			英語教育コース	8人
			社会科教育コース	14人
			理科教育コース	10人
			家政教育コース	4人
			保健体育コース	5人
			音楽教育コース	6人
		特別支援教育専攻		
教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	5人	
		多文化リテラシーコース	10人	
教 育 学 部 合 計				111人

（注1）合格者数（入学手続者数）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（注2）学校教育教員養成課程の幼小教育専攻（幼児教育コース及び小学校教育コース）は、1～2年次を柏原キャンパス、3～4年次を天王寺キャンパスで修学します。

2 出願資格及び要件

次のいずれかに該当する者で、令和6年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目（38～40頁の「令和6年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。（リスニングテスト免除者は除く。配点については、41頁を参照）

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、学校教員となることを強く志望する者 (4) 学校教育のさまざまな現代的課題に対して強い関心を持ち、教育科学に関わる学際的な知識を学んで、学校教育のあり方を探究していこうとする意欲を持つ者
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者 (3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者 (3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者 (4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体種目で都道府県大会決勝進出以上の成績を収めた者又は個人種目で各ブロック高体連主催の大会でベスト16以上の成績を収めた者 陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳） 各ブロック高体連主催大会名（個人種目のみ対象） 全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者 (3) 将来、高度な英語のスキルと広い視野を身につけ、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む者、又は英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む者
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和6年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和5年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和5年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和5年11月1日（水）から令和5年11月8日（水）まで（11月8日必着）

(2) 出願方法

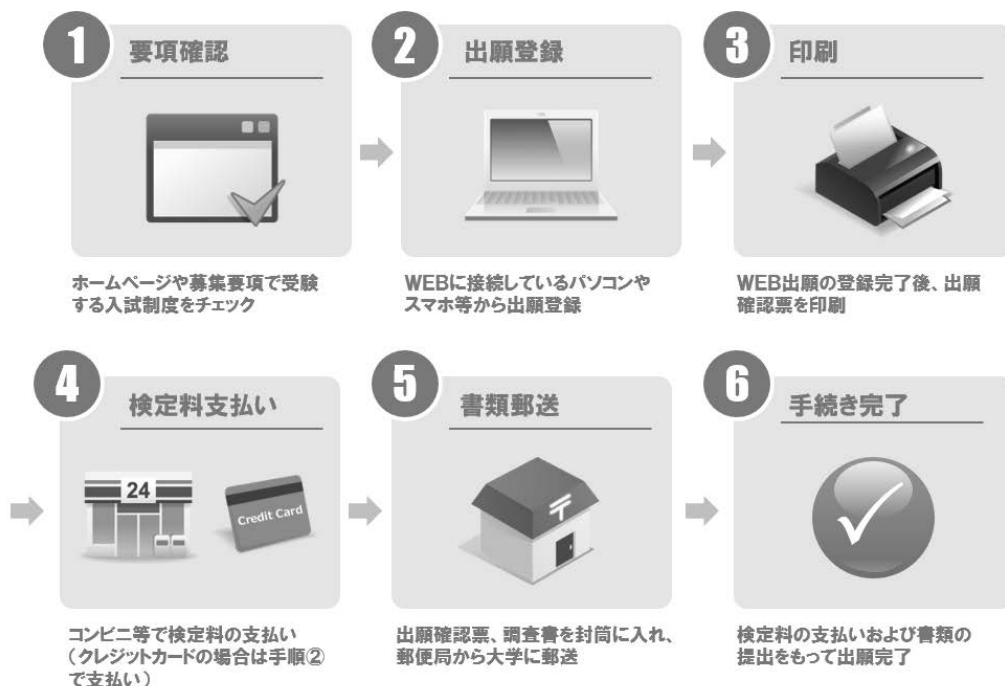
インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和5年10月25日（水）9時～令和5年11月8日（水）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和5年10月25日（水）9時～令和5年11月8日（水）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和5年11月1日（水）～令和5年11月8日（水）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月6日（月）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、65頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和5年10月25日(水)9時00分～令和5年11月8日(水)12時00分(日本時間)

※インターネット環境がない等の理由で、「インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。(大阪教育大学入試課：072-978-3324)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和5年10月25日(水)9時00分～令和5年11月8日(水)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,344円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代344円)。
入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。

- 2 支払方法

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA, MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、 デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

- 3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は57頁7の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoku_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和5年11月1日(水)～令和5年11月8日(水)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月6日(月)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出 願 確 認 票	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写 真 票	全 員	写真は2枚(同一)が必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 書 類 確 認 票	全 員	必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送 付 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑥から⑨は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください)	⑤ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑦ 志 望 理 由 書	全 員	本学所定の様式に志願者本人が自筆で作成してください。 なお、字数については、専攻・コースにより異なるので、次頁「志望理由書の字数について」を確認してください。
	⑧ 活 動 報 告 書	幼児教育コース・ 小学校教育コース・ 教育探究コース 志望者のみ	本学所定の様式それぞれA4用紙に片面印刷のうえ、志願者本人が自筆で作成してください。なお、志望するコースにより様式の種類・数が異なるので注意すること。(下記のとおり) ・幼児教育コース及び小学校教育コースは活動報告書2種類(A・B) ・教育探究コースは活動報告書1種類(C)
	⑨ 競技成績に関する 証 明 書	保健体育コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合の公式記録 あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑩ 英語能力測定試験 に関する証明書	英語教育コース・ 英語コミュニケーション コース志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、34～35頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、TOEIC®(L&R)のデジタル公式認定証を除き、学校が原本証明したものを必ず提出してください。
	⑪ 伴 奏 用 楽 譜	幼児教育コース・ 音楽教育コース 志望者のみ	音楽実技実施に必要な伴奏用楽譜は、B4版とし志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5版)42～43頁を参照してください。

2. 到着次第、送付する書類 ※試験実施後の提出となりますので、注意してください。

書 類 等	提出該当者	摘 要
共通テスト成績 請求票送付用紙	全 員	共通テスト成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和6共通テスト成績請求票」(国公立推薦型選抜用)を貼付して、 令和5年12月18日(月)必着 で郵送してください。※提出が遅れる場合は、必ず入試課へ連絡してください。

志望理由書の字数について

課程・学科・専攻・コース	指定字数
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	800字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	600字程度
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	800字程度
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	800字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	400字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	400字程度

(4) 英語能力測定試験の成績利用

1. 学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース

教科教育専攻 英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストの得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

共通テストへの得点加算	実用英語技能検定（英検） ＊	TOEFL iBT®	IELTS ＊ ＊	TOEIC® （L&R）	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 2022 年度以前受検 ＊ ＊ ＊	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 2023 年度受検 ＊ ＊ ＊
30 点	準 1 級以上	80 以上	6.0 以上	730 以上	1190 以上	1180 以上
15 点	2 級	65 以上	5.0 以上	600 以上	1070 以上	1060 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊ ＊ 「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

＊ ＊ ＊ 「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限りません。

また、GTEC の受検年度で加点対象の成績の条件が異なるため、注意してください。

英語能力測定試験の提出書類（教科教育専攻 英語教育コース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入学共通テストの得点の合計点に加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、TOEIC®（L&R）のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®（L&R）	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証） 又はデジタル公式認定証（2023 年度受検分）
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

2. 教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース

グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する次の等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検したものを対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合計点への 得点加算	実用英語技能 検定（英検） ＊	TOEFL iBT®	IELTS ＊＊	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 ＊ ＊ ＊
100 点	準 1 級以上	72 以上	6.0 以上	1200 以上
40 点		65 以上	5.5 以上	1110 以上
20 点		60 以上	4.5 以上	1010 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊ ＊ 「IELTS」はアカデミック・モジュールのみを対象とします。

＊ ＊ ＊ 「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点に加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

（5）障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和5年10月20日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 メールアドレス：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

（6）出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した令和6年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを確認してください。（38～40頁，62～64頁参照）

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和5年11月25日(土)

ただし、教育協働学科グローバル教育専攻多文化リテラシーコースは、
志願者数によっては、11月26日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検 査 時 間	
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	実技・面接	10:00～
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	面 接	10:00～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	実 技 面 接	10:00～13:00 14:30～
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	実 技	10:00～
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	面 接	10:00～
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	面 接	10:00～
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	面接(11/25) 10:00～ 面接(11/26) 10:00～(*) * 志願者数によっては実施しない場合があります。	

※志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。

その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，活動報告書)，実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，活動報告書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，活動報告書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	大学入学共通テスト(5教科5～6科目)，出願書類(学校長が作成した調査書，推薦書及び競技成績に関する証明書，志望理由書)，実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	大学入学共通テスト(5教科5～6科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書，英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	大学入学共通テスト(3教科3～4科目)，出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書，志望理由書)及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者，又は総合得点が低く大学入学共通テストの成績又は個別学力検査の成績のいずれかが著しく低い者については，募集人員に満たない場合でも，不合格とすることがあります。

(4) 令和6年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等について

共通テストを課す学校推薦型選抜で、本学が課す令和6年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。（配点については41頁を参照してください。）

なお、令和6年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合も、選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等	
		教科	科目名等		教科等	科目名等	
教育学部	学校教育専攻 幼稚園教育コース	国 理	国	必須	その他	実技検査 面接 活動報告書（注7）	
			英（リ）、独、仏、中、韓	から1			
	小学校教育コース	国 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1又は2	その他	面接 活動報告書（注7）	
			現社、倫、政経、倫・政経	から1			
	次世代教育専攻	国 理	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	から1	その他	面接 活動報告書（注7）	
			数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	から1			
	国語教育コース	国 理	A 物基、化基、生基、地基から2	⇒A又はB	その他	面接	
			B 物、化、生、地から1				
	英語教育コース	国 理	（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）		その他	面接	
			※ 英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算します。（注8）				
社会科教育コース	国 理	国	必須	その他	面接		
		英（リ）、独、仏、中、韓	から1				
理科教育コース	国 理	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	から1又は2	その他	面接		
		現社、倫、政経、倫・政経	から1				
家政教育コース	国 理	数Ⅰ、数Ⅰ・数A	から1	その他	面接		
		数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報	から1				

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、40頁も参照してください。

学部		課程・学科・専攻・コース		大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科		科目名等			教科等	科目名等
教育学部	学校教育専攻 教育教員養成課程	保健体育コース	国外 地歴 公民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1 から1 から1 A又はB	その他	面接 実技検査 競技成績に関する証明書	
		音楽教育コース	国外 地歴 公民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1 から1 から1 A又はB	その他	実技検査	
		特別支援教育専攻	国外 地歴 公民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 C 物基、化基、生基、地基から2並びに 物、化、生、地から1(注6) D 物、化、生、地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	その他	面接	
	グローバル教育専攻 教育協働学科	英語コミュニケーションコース	国外 地歴 公民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※ 英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストと個別学力検査の得点の合計点に得点加算します。(注8)	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	その他	面接	
		多文化リテラシーコース	国外 地歴 公民 数 理	国 英(リ)、独、仏、中、韓 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ、数Ⅰ・数A 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報 A 物基、化基、生基、地基から2 B 物、化、生、地から1 〔3教科3～4科目〕	必須 から1 から1 A又はB	その他	面接	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、40頁も参照してください。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 教科・科目名は次のように略しています。

国語→国, 外国語→外, 地理歴史→地歴, 数学→数, 理科→理

英語(リスニング含む)→英(リ), ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓

世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B, 現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 倫理, 政治・経済→倫・政経

数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B, 簿記・会計→簿, 情報関係基礎→情報
物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基, 物理→物, 化学→化, 生物→生, 地学→地

(※) 地理歴史と公民は独立した教科なので, それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

(注2) 大学入学共通テストにおいて, 指定した教科・科目数を超過して受験した場合は, 原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし, 地歴, 公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合, 又は理科(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」)から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は, 解答順に, 前半60分で受験した科目を第1解答科目, 後半60分で受験した科目を第2解答科目とし, 第1解答科目の成績を用います。

(注3) 大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。(リスニングテスト免除者は除く。)

また, 「英語」以外の外国語を受験した場合は, 筆記(200点満点)の成績をそのまま利用します。

(注4) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限ります。

(注5) 地理歴史及び公民については, **同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません**。「同一名称を含む科目の組合せ」とは, 「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」, 「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の組合せをいいます。

(注6) 理科については, 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において, 同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

(注7) 「活動報告書」とは, 高校時代等に行った活動実績の概要, そこで身につけた能力, スキルや経験を記載するものです。

なお, 活動報告書の様式や内容及び採点・評価基準は専攻・コースにより異なりますので注意してください。

活動報告書様式については33頁を, 内容及び採点・評価基準については45頁を参照してください。

(注8) 英語能力測定試験の詳細については, 34～35頁を参照してください。

(5) 令和6年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の配点等について

共通テストを課す学校推薦型選抜における令和6年度大学入学共通テスト及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・学科・専攻・コース			試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加算
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200						900	1460	
				個別学力検査							200	300		◎60	560		
		小学校教育専攻	小学校教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200						900	1290	
				個別学力検査								300		◎90	390		
		育次世代教	教育探究コース	共通テスト	200	200	200	100	200						900	1290	
				個別学力検査								300		◎90	390		
		教科教育専攻	国語教育コース	共通テスト	200	200	200	100	200						900	1200	
				個別学力検査								300			300		
			英語教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400						1100	1500	30
				個別学力検査								400			400		
			社会科教育コース	共通テスト	200	★400	200	100	200						1100	1450	
				個別学力検査								350			350		
			理科教育コース	共通テスト	200	100	200	★400	200						1100	1500	
				個別学力検査								400			400		
			家政教育コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200						900	1500	
				個別学力検査								600			600		
			保健体育コース	共通テスト	200	100	100	100	200						700	1260	
				個別学力検査							210	200	150		560		
			音楽教育コース	共通テスト	200	100	100	100	200						700	1260	
				個別学力検査							560				560		
		特別支援教育専攻		共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200						900	1200	
				個別学力検査								300			300		
教育協働学科	教育グローバル専攻	英語コミュニケーションコース	共通テスト	200	200	200	100	★400							1100	1700	100
			個別学力検査									600			600		
		多文化リテラシーコース	共通テスト	200	*100	*100	*100	200							500	800	
			個別学力検査									300			300		

配点欄における記号・注釈について

- ※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。
（選択できる科目数については38～40頁を参照してください。）
＊印は、選択教科を表しています。（選択教科については39頁を参照してください。）
★印は、傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については下記を参照してください。）
◎印は、活動報告書を表しています。

傾斜配点について

大学入学共通テストの外国語「英語」でリスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用います。
また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記（200点満点）の成績をそのまま利用します。（ただし、英語教育コース及び英語コミュニケーションコースは400点満点に換算します。）
その他、大学入学共通テストの1つ又は2つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は下表のとおりです。

課程・学科・専攻・コース	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	共通テスト 配点合計
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	外国語	200	2	400	1100
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	地理歴史 及び公民（注）	200	2	400	1100
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	理科	200	2	400	1100
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	外国語	200	2	400	1100

（注）地理歴史及び公民から合わせて2科目。（38・40頁を参照してください。）

(6) 実技検査

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

課程・専攻・コース	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	次のⅠ・Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ. ピアノ 任意のピアノ演奏用独奏曲（バロックから近現代まで）を1曲演奏する。 (注) 1. ピアノ演奏用独奏曲とは、ピアノのために作曲された独奏曲である。 2. 上記の曲は、楽譜が刊行されている曲に限る。 3. 他の楽器のために作られた曲、簡易楽譜に編曲された曲は認めない。 4. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお、演奏の途中で中止させる場合がある。 5. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> Ⅱ. 歌 唱 下記の5曲から任意の1曲を歌う。 1) アイスcreamのうた (作詞：佐藤義美 作曲：服部公一) 2) マーチング・マーチ (作詞：阪田寛夫 作曲：服部公一) 3) びわ (作詞：まどみちお 作曲：磯部俣) 4) 小さい秋みつけた (作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直) 5) めえめえ兎山羊 (作詞：藤森秀夫 作曲：本居長世) (注) 1. 暗譜で歌うこと。 2. はじめの音を与えるので、伴奏なしで歌うこと。 3. 歌唱の途中で中止させる場合がある。 4. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜（移調して歌う場合は、移調した楽譜）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u>
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト A. 体づくり運動は全員が行う。 B～Dの中から2つを出願時に選択すること。 出願後の変更は認めない。 A. 体づくり運動：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から、当日指定された体操を行う。 B. 陸上運動：ハードル走（ただし、(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） C. 器械運動：マット運動（ただし、(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） D. 球 技：バスケットボール（ただし、(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） (1) 陸上競技 (7) 卓 球 (13) ダンス (2) バスケットボール (8) 硬式テニス (14) 柔 道 (3) サッカー (9) ソフトテニス (15) 剣 道 (4) ラグビーフットボール (10) 硬式野球 (16) 水泳競技（競泳） (5) バレーボール (11) バドミントン (6) ハンドボール (12) 体操競技

課程・専攻・コース	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ. 歌 曲 下記の２曲から任意の１曲を歌う。 1) Caro mio ben G. Giordani (F, Es, D, C-Dur) 2) Sogno F. P. Tosti (As, B-Dur) (注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ. ピアノ 次の1), 2)からそれぞれ１曲ずつ、計２曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章（ただし緩徐楽章は除く） 2) ロマン派又は近現代の曲（ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。） (注) 1. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。 なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ２曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u> Ⅲ. 楽 典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

(6)－2 実技検査の採点・評価基準

課程・専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	Ⅰ. ピアノ Ⅱ. 歌 唱	幼児教育において必要な表現力及び基礎技能について評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査 保健体育実技技能に関するテスト	小学校の体育，中学校・高等学校の保健体育の実技を指導するために必要な運動能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	Ⅰ. 歌 曲 Ⅱ. ピアノ Ⅲ. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。

(7) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	幼児教育に関する理解・関心度・意欲をみる内容を問う。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性についても評価する場合がある。
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	面接をととして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	学校教育のさまざまな現代的課題への強い関心と、教育科学に関わる学際的な知識をもとに学校教育のあり方を探究しようとする意欲、ならびに、将来、学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	学校教育の現代的課題への関心、学校教育のあり方を探究しようとする意欲、学校教育の教員への意欲と、認識や洞察の深さなどについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	将来、国語科分野の小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識及び言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求める。	面接をととして、日本語に関する言語知識及び言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ、応答における論旨の明確さ、洞察の深さ、論展開の的確さ、言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ、国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	将来、小学校、中学校、高等学校の英語教員となるのにふさわしい資質と外国語活動又は英語教育に関する理解・認識・関心度及び英語運用能力をみる内容を問う。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	将来、小学校、中学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる内容を問う。	小学校、中学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校・高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	面接をととして、自然科学に関する知識や理解度と小学校、中学校・高等学校の理科教員への資質を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員にふさわしい資質をみる内容を問う。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員としての資質を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	将来、小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる内容を問う。	小学校の教員、中学校・高等学校の保健体育教員への意欲、保健体育科目に関する関心・知識・理解力を総合的に捉え採点・評価する。

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育への理解と関心，また将来，特別支援教育に携わる教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	特別支援教育に関する知識と理解力，特別支援教育をとりまく諸課題に対する洞察力，障がいのある子どもに関わることへのやりがいと使命感，特別支援教育の教職に就くことへの意欲などについて総合的に採点・評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	英問英答を中心とした口述試験を行い，英語圏言語文化に関連する教科に関する理解と認識をみる内容を問う。	英問英答を中心とした口述試験を行い，英語圏言語文化に関連する教科に関する理解，認識，探究心及び運用能力を総合的に評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する問題意識，知識や理解力，自らの意見を的確に表現する力をみる内容を問う。	日本やアジア，ヨーロッパの言語文化，社会・芸術文化，教育文化に関する問題意識，知識や理解力，表現力を総合的に評価する。

(8) 活動報告書の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために，高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書（活動内容ならびに学びに関する報告）の提出を求める。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する報告によって，大学入学後の学習態度（特に，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に，主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために，高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書（活動内容ならびに学びに関する報告）の提出を求める。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する報告によって，大学入学後の学習態度（特に，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に，主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために，高等学校の学内外における活動の内容についての報告書の提出を求める。	高等学校における学内外の活動の具体的内容とその活動に関する振り返りによって，大学入学後の学習態度（特に，主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性について総合的に評価する。